

1.	①	11.	②	21.	②	31.	④	41.	①
2.	②	12.	③	22.	①	32.	①	42.	④
3.	①	13.	①	23.	④	33.	②	43.	①
4.	③	14.	②	24.	③	34.	②	44.	③
5.	②	15.	④	25.	②	35.	①	45.	③
6.	②	16.	④	26.	③	36.	③	46.	③
7.	③	17.	④	27.	①	37.	④	47.	②
8.	③	18.	④	28.	④	38.	④	48.	③
9.	③	19.	②	29.	③	39.	④	49.	④
10.	④	20.	④	30.	②	40.	③	50.	③

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「返事」です。reply は、質問、手紙、メールなどに対する「返答、返事」を意味する名詞です。I'm still waiting for a reply to my email. (私はまだ E メールへの返事を待っている) のように使います。②「質問」は question、③「招待」は invitation、④「提案」は suggestion が対応します。

◆補足：reply は、動詞としても「返事をする」という意味で使われます。He hasn't replied to my letter yet. (彼はまだ私の手紙に返事をくれていない)。類義語の answer よりも、手紙やメール、公式な質問など、特定のコミュニケーションに対する「応答」というニュアンスが強いです。in reply to ~ (～への返事として) という前置詞句も重要です。

2.

解答 ②

【解説】

「薬、医学」という意味に最も近い英単語は②の medicine です。病気の治療や予防に用いる物質や、医療に関する学問分野全体を指します。例えば、「薬を飲む」は take medicine と表現します。他の選択肢について、① machine は「機械」、③ magazine は「雑誌」、④ mixture は「混合物」を意味する名詞です。

◆補足：medicine は不可算名詞として「医学」を、可算・不可算名詞として「薬」を意味します。同じ「薬」でも、medication はより専門的な「治療薬」を、drug は市販薬や違法薬物も含む広い意味を持つなど、ニュアンスの違いがあります。"a taste of one's own medicine" は「自分がした仕打ちの報いを受ける」という意味の面白い慣用句です。

3.

解答 ①

【解説】

「～を受け入れる」という意味に最も近い英単語は①の **accept** です。招待や申し出、意見などを同意して受け取ることを指します。例えば、「彼の招待を受け入れた」は **I accepted his invitation.** と表現します。他の選択肢は、② **except** が前置詞で「～を除いて」、③ **expect** が「～を期待する」、④ **attempt** が「～を試みる」という意味で、スペルや発音が似ているため注意が必要です。

◆**補足**：**accept** の名詞形は **acceptance** (受諾、受け入れ)、形容詞形は **acceptable** (受け入れられる、申し分のない) です。対義語は **refuse** (～を断る) や **reject** (～を拒絶する) です。語源はラテン語の **ad-** (～へ) + **capere** (つかむ) で、「自分の方へつかみ取る」というイメージが「受け入れる」という意味につながっています。

4.

解答 ③

【解説】

英単語「**material**」は、「材料、素材」や「(研究・執筆などの) 資料、データ」という意味の名詞です。物が作られる元の物質や、何かを行うための情報などを指します。例えば、「建築資材」は **building materials**、「会議の資料」は **conference materials** と表現します。選択肢①「結婚」は **marriage**、②「多数」は **majority**、④「奇跡」は **miracle** です。

◆**補足**：**material** は、文脈によって可算名詞にも不可算名詞にもなります。具体的な「材料」や「資料」を複数指す場合は **materials** となります。また、形容詞としては「物質的な、物理的な」という意味を持ち、**spiritual** (精神的な) の対義語として使われます (例：**material wealth** 物質的な富)。

5.

解答 ②

【解説】

英単語「**overtime**」は、「時間外労働、残業」という意味の名詞です。正規の勤務時間を超えて働くことを指します。例えば、「残業する」は **work overtime**、「残業代」は **overtime pay** と表現します。選択肢①「休憩時間」は **break time**、③「勤務時間」は **working hours**、④「締め切り」は **deadline** です。

◆**補足**：**overtime** は、**over** (超えて) と **time** (時間) が組み合わさった複合語で、文字通り「時間を超える」ことを意味します。名詞だけでなく、**work overtime** のように副詞としても使われます。

6.

解答 ②

【解説】

英語表現「**behind one's back**」は、「陰で、本人のいないところで」という意味です。誰かの知らないところで、その人にとって不利益な、あるいは不誠実なことを言ったりしたりする状況を表します。例えば、「陰で人の悪口を言う」は **talk about someone behind their back** と表現します。選択肢①「背中合わせで」は **back to back**、③「以前は」は **back in the day**、④「引き返す」は **go back** などが対応します。

◆**補足**：文字通り「(人の) 背中の後ろで」というイメージが、本人が見たり聞いたりできない場所、つまり「陰で」という意味につながっています。

7.

解答 ③

【解説】

「～を中止する」という意味に最も近い英単語は③の **cancel** です。予定されていたイベントや計画などを、取りやめることを指します。例えば、「会議を中止する」は **cancel the meeting** と表現します。他の選択肢について、① **counsel** は「～に助言する」、② **conceal** は「～を隠す」、④ **concern** は「～に関係する、～を心配させる」という意味です。

◆**補足**：**cancel** は、類義語の **postpone** (延期する) と区別することが重要です。**cancel** は「取りやめ」、**postpone** は「後日に行う」という違いがあります。名詞形は **cancellation** です。

8.

解答 ③

【解説】

英語表現「**not to mention ～**」は、「～は言うまでもなく、～に加えて」という意味の熟語です。すでに述べた事柄に、さらに重要な情報や強調したい情報を付け加える際に使われます。例えば、「彼は頭が良く、スポーツも万能で、その上ハンサムだ」のような文脈で使われます。選択肢①「～を考慮する」とは **considering ～**、②「～にもかかわらず」は **in spite of ～**、④「～の代わりに」は **instead of ～** が対応する表現です。

◆**補足**：**not to mention ～** は、**let alone ～** とほぼ同じ意味で使われます。**let alone ～** は、特に否定文の後で「～はなおさらだ」という意味で使われることが多いです。例えば、**"He can't even ride a bicycle, let alone a motorcycle."** (彼は自転車にさえ乗れないのだから、バイクはなおさら無理だ) のように使います。**mention** (～に言及する) を否定する形ですが、「言及するまでもないほど明らかだ」というニュアンスから現在の意味になっています。

9.

解答 ③

【解説】

英単語「investment」は、「投資」という意味の名詞です。利益を得る目的で、お金や時間、労力などをつぎ込むこと、またはそのつぎ込まれたものを指します。例えば、「不動産への投資」は **an investment in real estate** と表現します。選択肢①「発明」は **invention**、②「招待」は **invitation**、④「環境」は **environment** です。

◆**補足**：investment は、動詞 **invest**（～を投資する）の名詞形です。接尾辞の **-ment** は動詞に付いて名詞を作ることが多いです（例：**develop** → **development**）。金融の文脈だけでなく、「教育は未来への最良の投資だ」のように、比喩的にも広く使われます。

10.

解答 ④

【解説】

英単語「challenging」は、「やりがいのある、困難だが興味をそそる」という意味の形容詞です。単に「難しい (**difficult**)」というだけでなく、努力して乗り越える価値があるという、前向きなニュアンスを含みます。例えば、「それはやりがいのある仕事だった」は **It was a challenging job.** と表現します。選択肢①「退屈な」は **boring**、②「がっかりさせる」は **disappointing**、③「魅力的な」は **charming** や **attractive** などが対応します。

◆**補足**：challenging は、動詞 **challenge**（～に挑戦する、異議を唱える）の現在分詞が形容詞化したものです。名詞の **challenge** も「挑戦、難題」という意味でよく使われます。**difficult** が客観的な困難さを示すのに対し、**challenging** は主観的に「挑戦心をかき立てられる」という気持ちが含まれることが多いです。このニュアンスの違いを理解しておくと、より豊かな表現が可能になります。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②「指示」です。**instruction** は、何かを正しく行うための、詳細な情報や命令、すなわち「指示、説明」を意味します。**You must follow the instructions carefully when you assemble the furniture.**（その家具を組み立てるときは、注意深く指示に従わなければならない）のように使います。①「意見」は **opinion**、③「提案」は **suggestion**、④「質問」は **question** です。

◆**補足**：instruction は、通常、**instructions** と複数形で使われ、製品の「取扱説明書」や、料理の「作り方の手順」などを指すことが多いです。動詞形は **instruct**（～に指示する）で、**teacher** や **doctor** よりもフォーマルな響きを持つ **instructor** は「指導員」を意味します。

12.

解答 ③

【解説】

英単語「firework」は、「花火」という意味の名詞です。お祝い事などの際に、光や音のショーを生み出すために爆発させる小さな装置を指します。通常は複数形の fireworks で使われます。例えば、「花火大会」は a fireworks display と表現します。選択肢①「枠組み」は framework、②「宿題」は homework、④「暖炉」は fireplace です。

◆補足：firework は、fire（火）と work（作品）が組み合わさった複合名詞で、文字通り「火の作品」というイメージです。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①become aware of です。aware は「気づいている、知っている」という状態を表す形容詞で、become aware of ~で「～に気づくようになる」という変化を表します。五感で知覚する notice や、事実を悟る realize と似ていますが、become aware of は、ある情報に接して意識が向くようになる、というニュアンスで使われます。②get tired of は「～に飽きる、うんざりする」、③be afraid of は「～を恐れる」、④be proud of は「～を誇りに思う」という意味です。

◆補足：be aware of ~は「～に気づいている」という「状態」を、become aware of ~は「～に気づく」という「変化」を表します。名詞形は awareness（意識、認識）で、raise awareness of ~（～についての意識を高める）という形で環境問題や社会問題の文脈で頻出します。conscious も「意識している」という意味で似ていますが、aware が外部の情報に「気づいている」のに対し、conscious は自己の内部の状態や思考を「自覚している」というニュアンスで使われることが多いです。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「協会」です。association は、共通の目的や関心を持つ人々が集まって作る組織、すなわち「協会、組合」を意味します。この例文は「彼は日本医師会に勤めている」となります。①「連想」、③「関連」、④「付き合い」も association が持つ意味ですが、Japan Medical という文脈から「協会」が最も適切です。

◆補足：association の動詞形は associate（関連づける、付き合う）です。in association with ~で「～と共同で、～と関連して」という重要な表現になります。

15.

解答 ④**【解説】**

正解は④achieve です。この動詞は、長期間の努力の末に、目標としていたことや、高い地位、名声などを「達成する、獲得する」ことを意味します。She achieved her dream of becoming a doctor. (彼女は医者になるという夢を達成した)。①acquire は(知識や技術などを)「習得する」、②accomplish は(任務などを)「成し遂げる」、③approach は「～に近づく」という意味です。

◆補足：achieve の名詞形は achievement (達成、業績) です。類義語の accomplish が「任務の完了」に焦点を当てるのに対し、achieve は「目標への到達」に焦点を当てます。a sense of achievement で「達成感」という重要な表現になります。

16.

解答 ④**【解説】**

「C にちなんで A(B) と名付ける」という意味に最も近い英語表現は④の name A after C です。尊敬する人や、ゆかりのある物事の名前を、子供や物 (A や B) につけることを指します。例えば、「その都市は有名な科学者にちなんで名付けられた」のように使います。他の選択肢について、① call A C は「A を C と呼ぶ」、② see A as C は「A を C と見なす」、③ look after C は「C の世話をする」という意味です。

◆補足：この表現では、after は「～の後を追って」というニュアンスで使われています。

17.

解答 ④**【解説】**

「洪水」という意味に最も近い英単語は④の flood です。大雨などによって、普段は乾いている土地が大量の水で覆われる災害を指します。例えば、「洪水警報」は a flood warning と表現します。他の選択肢について、① floor は「床」、② fluid は「流体」、③ blood は「血液」です。

◆補足：flood は動詞としても使われ、「～を水浸しにする、～にあふれる」という意味になります。また、比喩的に「(要求などが) 殺到すること」という意味でも使われます (例：a flood of applications 応募の殺到)。

18.

解答 ④**【解説】**

「巣」という意味に最も近い英単語は④の **nest** です。鳥や昆虫などが、卵を産み、子を育てるために作る構造物を指します。例えば、「鳥の巣」は **a bird's nest** と表現します。他の選択肢について、① **net** は「網」、② **rest** は「休息、残り」、③ **test** は「試験」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：**nest** は動詞としても使われ、「巣を作る」という意味になります。また、比喩的に「居心地の良い場所、隠れ家」といった意味で使われることもあります。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②**for the purpose of** です。この前置詞句は、「～の目的で」という意味で、行動の意図や目的をフォーマルに説明する際に使われます。後ろには名詞や動名詞が続きます。**He visited the town for the purpose of historical research.**（彼は歴史研究の目的でその町を訪れた）。①**for the sake of** は「～の（利益の）ために」、③**as a result of** は「～の結果として」、④**in charge of** は「～を担当して」という意味です。

◆補足：**purpose** は「目的」を意味する名詞です。**on purpose** で「故意に、わざと」という副詞句になります。**so that ...**や**in order to do...**も目的を表しますが、**for the purpose of ~**はより硬い表現です。

20.

解答 ④

【解説】

「（出稼ぎなどの）移住者」という意味に最も近い英単語は④の **migrant** です。特に、仕事を見つけるために、一時的あるいは恒久的にある場所から別の場所へ移動する人を指します。他の選択肢について、① **immigrant** は永住目的で入国する「（外国からの）移民」、② **emigrant** は永住目的で自国から出ていく「（外国への）移民」で、視点が異なります。③ **tourist** は「観光客」です。

◆補足：**migrant** は、動詞 **migrate**（移住する）から派生した言葉です。**immigrant** や **emigrant** が国境を越える永住を強く意識させるのに対し、**migrant** は国内での移動や、季節的な労働のための移動なども含む、より広い概念です。**migrant worker**（出稼ぎ労働者）という形でよく使われます。

21.

解答 ②

【解説】

「～に感心する、～を称賛する」という意味に最も近い英単語は②の **admire** です。人やその行動、作品などを尊敬し、素晴らしいと思う気持ちを表します。例えば、「私は彼の勇気に感心した」のよう

に使用します。他の選択肢について、① **admit** は「～を（事実だと）認める」、③ **adopt** は「～を採用する、～を養子にする」、④ **adapt** は「～を適合させる」という意味です。

◆補足：admire の語源は、ラテン語の **ad-**（～に）＋**mirari**（驚く）で、「～を見て驚嘆する」というのが核となるイメージです。名詞形は **admiration**（感心、称賛）、形容詞形は **admirable**（称賛に値する）です。

22.

解答 ①

【解説】

「記録、最高記録」という意味に最も近い英単語は①の **record** です。スポーツなどにおける最高の成績や、後々のために書き残された情報を指します。例えば、「世界記録を破る」は **break a world record** と表現します。他の選択肢について、② **reward** は「報酬」、③ **report** は「報告」、④ **regard** は「配慮、尊敬」という意味の名詞です。

◆補足：**record** は、名詞として使われる場合は **/ˈrekɔːrd/**（レコード）のように前にアクセントが置かれ、動詞として「～を記録する」という意味で使われる場合は **/rɪˈkɔːrd/**（リコード）のように後ろにアクセントが置かれます。この発音の違いも重要です。また、「レコード盤」という意味もあります。

23.

解答 ④

【解説】

「一人で、独力で」という意味に最も近い英語表現は④の **on one's own** です。他人の助けを借りずに、自分だけの力で何かを行うことを示します。**one's** の部分には **my, your, his** などの所有格が入ります。例えば、「彼は独力でその問題を解決した」のように使います。他の選択肢について、① **on the other hand** は「他方では」、② **on time** は「時間通りに」、③ **on duty** は「勤務中で」という意味です。

◆補足：**on one's own** は、**by oneself** とほぼ同じ意味で使うことができます。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③**combine** です。この動詞は、二つ以上のものを一つに「結合させる、組み合わせる」ことを意味します。**This course combines language study with cultural activities.**（このコースは語学学習と文化活動を組み合わせている）。①**compete** は「競争する」、②**complain** は「不平を言う」、④**compare** は「～を比較する」という意味です。

◆補足：combine の名詞形は combination（組み合わせ）です。語源は、com-（共に）とラテン語の bini（二つずつ）で、「二つのものを共にする」というのが元の意味です。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②「偶然に、誤って」です。accidentally は、意図したわけではなく、偶然または間違いによって何かが起こったことを示す副詞です。I accidentally broke my mother's favorite vase.（私は誤って母のお気に入りの花瓶を割ってしまった）。①「意図的に」は対義語の intentionally や on purpose です。③「実際に」は actually、④「追加的に」は additionally が適切な単語です。

◆補足：accidentally は、名詞 accident（事故、偶然の出来事）の副詞形です。by accident という前置詞句も「偶然に」という意味で accidentally とほぼ同じように使えます。accident の語源は、ラテン語の ad-（～へ）と cadere（落ちる）で、「身に降りかかる出来事」というのが元の意味です。

26.

解答 ③

【解説】

「～に敬意を表して、～を記念して」という意味に最も近い英語表現は③の in honor of です。特定の人や出来事を称え、尊敬の念を示すために何かを行う際に使われます。例えば、「彼の功績を称えてパーティーが開かれた」のように使います。他の選択肢について、① in favor of は「～に賛成して」、② in spite of は「～にもかかわらず」、④ in front of は「～の正面に」という意味です。

◆補足：honor は「名誉、敬意」を意味する名詞です。イギリス英語では honour と綴ります。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①bleed です。この動詞は、けがなどによって「出血する」ことを意味します。His nose is bleeding.（彼は鼻血が出ている）。②breed は「（動物が子を）産む、～を繁殖させる」、③blend は「～を混ぜる」、④bless は「～を祝福する」という意味です。

◆補足：bleed は名詞 blood（血）の動詞形です。過去形・過去分詞形は bled と不規則な変化をします。インクなどが「にじむ」という意味で使われることもあります。

28.

解答 ④

【解説】

「免疫のある」という意味に最も近い英単語は④の **immune** です。体内の物質によって、特定の病気から守られている状態を指します。**be immune to** ～ の形で「～に対して免疫がある」と表現します。他の選択肢について、① **immense** は「巨大な」、② **immediate** は「即座の」、③ **immature** は「未熟な」という意味です。

◆補足：**immune** は、比喩的に「(批判・影響など)を受けない、動じない」という意味でも使われます(例：**immune to criticism** 批判に動じない)。名詞形は **immunity** (免疫)、動詞形は **immunize** (～に免疫性を与える) です。

29.

解答 ③

【解説】

「～を魅了する」という意味に最も近い英単語は③の **fascinate** です。人の注意や興味を強く引きつけ、夢中にさせることを指します。例えば、「その物語は多くの読者を魅了した」のように使います。他の選択肢について、① **hesitate** は「ためらう」、② **facilitate** は「～を容易にする、促進する」、④ **frustrate** は「～をいらいらさせる、挫折させる」という意味です。

◆補足：**fascinate** は、受け身の **be fascinated by/with** ～ (～に魅了される) の形で使われることが非常に多いです。形容詞形は **fascinating** (魅力的な)、名詞形は **fascination** (魅了、魅力) です。

30.

解答 ②

【解説】

英語表現「**in turn**」は、「順番に、次々に」という意味です。人々が一人ずつ、あるいは物事が一つずつ順番に行われる様子を表します。例えば、「彼らは順番にスピーチをした」は **They gave speeches in turn.** と表現します。選択肢①「結局は」は **in the end**、③「事前に」は **in advance**、④「お返しに」は **in return** です。

◆補足：**in turn** には、「今度は、その結果として」という意味もあります。A が B を引き起こし、今度はその B が C を引き起こす、といった一連の因果関係の中で使われます。例：**The company's success led to more investment, which in turn created more jobs.**

31.

解答 ④

【解説】

正解は④post です。この単語は、郵便 (mail) や柱 (pole) など多くの意味を持ちますが、ビジネスや公的な組織における「地位、職、役職」という意味でも使われます。He was appointed to a senior post in the government. (彼は政府の高官の地位に任命された)。①port は「港」、②path は「小道」、③past は「過去」です。

◆補足：post は動詞としても重要で、「～を投函する」や「(情報を) 掲示する、投稿する」といった意味があります。I'll post the letter tomorrow. (明日その手紙を投函します)。

32.

解答 ①

【解説】

「A だけでなく B も」という意味に最も近い英語表現は①の not only A but also B です。二つの事柄を列挙し、特に B の方を強調する際に使われる相関接続詞です。例えば、「彼は歌手であるだけでなく、俳優でもある」のように使います。他の選択肢について、②either A or B は「A か B のどちらか」、③neither A nor B は「A も B も～ない」、④A as well as B は「B だけでなく A も」となり、A と B の順序と強調点が逆になります。

◆補足：not only が文頭に来ると、倒置（疑問文の語順）が起こるという重要な文法ルールがあります（例：Not only is he a singer, but he is also an actor.）。also は省略されることもあります。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②の apply です。apply は、仕事、役職、あるいは大学の入学許可などを得るために、公式に「応募する、申し込む、出願する」という意味で使われます。She decided to apply for a job at the new company. (彼女は新しい会社の仕事に応募することに決めた) のように用います。①join は「～に参加する」、③attend は「～に出席する」、④quit は「～を辞める」という意味で、文脈に合いません。

◆補足：apply は、apply for ~（職や許可などを求めて応募する）と apply to ~（組織や大学などに応募する）という前置詞の使い分けが重要です。また、この単語には「(規則や理論などを) 適用する、応用する」や「(薬などを) 塗る」といった、全く異なる意味もあります。文脈に応じて意味を判断する力が必要です。名詞形は application（申し込み、応募、適用）です。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②get together です。この句動詞は、友人や家族などが、楽しむために、あるいは特定の目的のために「集まる、会合する」ことを意味します。Let's get together for dinner sometime. (いつか夕食に集まろうよ)。①get over は「(困難や病気などを) 乗り越える」、③get along は「(with ~で) ~と仲良くやる」、④get away は「逃げる、休暇で出かける」という意味です。

◆補足：get-together とハイフンでつなぐと、「(非公式な) 集まり、パーティー」という名詞として使うことができます。例：We're having a small get-together at my place. (私の家で小さな集まりを開きます)。gather も「集まる」という意味ですが、get togetherの方がより口語的で、非公式な集まりのニュアンスがあります。

35.

解答 ①

【解説】

英単語「badly」は、形容詞 bad の副詞形で、「ひどく、下手に」という意味です。物事の質が低いことや、やり方がうまくないことを表します。例えば、「彼はひどく歌が下手だ」は He sings badly. と表現します。選択肢②「ほとんど～ない」は hardly、④「広く」は widely です。

◆補足：badly には「非常に、とても」という意味もあり、特に need や want といった動詞と共に使われることが多いです。例えば、I want to see you badly. は「君にひどく会いたい」という意味になります。文脈によって「下手に」なのか「非常に」なのかを判断する必要があります。

36.

解答 ③

【解説】

英単語「though」が接続詞として使われる場合は「～にもかかわらず」という意味ですが、副詞として文末に置かれる場合は、「～だけれども、でもね」といった、前の文の内容に軽い対比や補足を加える意味になります。口語で非常によく使われます。選択肢①「～を通して」は through、②「厳しい」は tough で、スペルや発音が似ているため注意が必要です。④「それゆえに」は thus や therefore です。

◆補足：文末で使われる though は、but や however よりもはるかに口語的で、思いついたように情報を付け加えるニュアンスがあります。例：It's a bit expensive. It's nice, though. (ちょっと高いね。でも素敵だけどね。)

37.

解答 ④

【解説】

正解は④の **congratulation** です。**congratulation** は、相手の成功、達成、幸運などに対して述べる「お祝いの言葉」を指します。通常、**Congratulations!**のように複数形で使われるのが一般的です。**Please accept my sincere congratulations on your wedding.**（ご結婚、心からお祝い申し上げます）のように用います。① **celebration** は「お祝いの会、祝賀」、② **ceremony** は「式典」、③ **compliment** は「褒め言葉」を意味します。

◆補足：**congratulation** は、卒業、結婚、昇進、受賞など、相手が何かを成し遂げたり、喜ばしい節目を迎えたりした際に使われます。一方、**compliment** は、相手の外見や能力、持ち物などを褒める、より日常的な賞賛の言葉です。動詞は **congratulate** で、**congratulate A on B**（B のことで A を祝う）という形で使います。**I congratulated him on his success.**（私は彼の成功を祝った）。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「競争」です。**competition** は、勝利、利益、優位性などを目指して、複数の個人や団体が競い合うこと、すなわち「競争、競技会」を意味します。例文は「スマートフォンメーカーの間には熾烈な競争がある」という意味です。①「協力」は **cooperation** で、対義語にあたります。②「会話」は **conversation**、③「完成」は **completion** です。

◆補足：**competition** の動詞形は **compete**（競争する）、競争相手は **competitor**、形容詞形は **competitive**（競争の、競争力のある）です。これらはすべて重要語なので、セットで覚えておくと語彙力が大きく向上します。

39.

解答 ④

【解説】

「化石」という意味に最も近い英単語は④の **fossil** です。大昔の生物の死骸や痕跡が、地層の中で石のように硬くなって保存されたものを指します。例えば、「化石を発見する」は **discover a fossil** と表現します。他の選択肢について、① **castle** は「城」、② **vessel** は「船、容器、血管」、③ **muscle** は「筋肉」という意味です。

◆補足：**fossil** は、形容詞として使われることもあります（例：**fossil fuels** 化石燃料）。化石燃料とは、石炭や石油、天然ガスのように、大昔の生物が地中で変化してできた燃料のことです。

40.

解答 ③

【解説】

英語表現「be indispensable for ～」は、「～にとって不可欠である、絶対必要だ」という意味です。それなしでは成り立たないほど重要であることを表します。例えば、「水は生命にとって不可欠だ」は Water is indispensable for life. と表現します。選択肢①「～に責任がある」は be responsible for ～、②「～に満足している」は be satisfied with ～、④「～に依存している」は be dependent on ～です。

◆補足：indispensable の中の dispense は「分配する、なしで済ます」という意味の動詞です。それに否定の接頭辞 in- が付くことで、「なしで済ますことができない」→「不可欠な」という意味になります。類義語の essential や vital よりも強い必要性を表します。

41.

解答 ①

【解説】

「特定の、明確な」という意味に最も近い英単語は①の specific です。曖昧ではなく、はっきりと限定された一つを指す際に使われます。例えば、「何か特定の理由」は a specific reason と表現します。他の選択肢について、②special は「特別な」、③superficial は「表面的な」、④sophisticated は「洗練された、精巧な」という意味です。

◆補足：specific と special の違いに注意が必要です。specific は「他ならぬ、まさにその」という限定のニュアンス、special は「他とは違う、格別な」という価値のニュアンスを持ちます。名詞形は specification(s)（仕様、明細）です。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④drain です。この動詞は、液体を容器や場所から「排出する、～の水を抜く」ことを意味します。I drained the water from the bathtub.（私は浴槽の水を抜いた）。①train は「～を訓練する」、②draw は「～を引く、描く」、③drown は「溺れる」という意味です。

◆補足：drain は、名詞として「排水管、下水溝」という意味も持ちます。the kitchen drain（台所の排水口）。また、比喩的に、人の体力や国の資源などを「消耗させる」という意味でも使われます。The long war drained the country's resources.（長い戦争がその国の資源を消耗させた）。

43.

解答 ①

【解説】

英単語「subject」が名詞として使われる場合、「主題、テーマ」や「教科、科目」といった意味を持ちます。例えば、「会議の議題」は the subject of the meeting、「好きな科目」は my favorite subject の

ように使います。選択肢②「物体、対象」は **object**、③「計画」は **project**、④「地下鉄」は **subway** です。

◆補足：subject は、動詞として使うと /səb'dʒekt/ と後ろにアクセントが置かれ、「～を服従させる」という意味になります。また、実験などの「被験者」という意味も重要です。

44.

解答 ③

【解説】

「意図」という意味に最も近い英単語は③の **intention** です。何かをしようとする、心の中の計画や目的を指します。例えば、「彼にはうそをつく意図はなかった」のように使います。他の選択肢について、① **invention** は「発明」、② **attention** は「注意」、④ **interaction** は「交流、相互作用」です。

◆補足：intention の動詞形は **intend**（～するつもりである）です。**have no intention of doing** ～（～するつもりは毛頭ない）という表現は頻出です。形容詞形は **intentional**（意図的な）で、対義語は **unintentional**（意図的でない）です。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「不平を言う」です。**complain** は、何かに対して不満や不快感を表明すること、すなわち「不平を言う、苦情を言う」という意味の動詞です。**He is always complaining about the weather.**（彼はいつも天気について不平を言っている）のように使います。①「感謝する」は **thank**、②「同意する」は **agree**、④「謝罪する」は **apologize** が対応します。

◆補足：**complain** は、**complain to**（人）**about**（事柄）の形で「（人）に（事柄）について不平を言う」という構文で使われることが多いです。名詞形は **complaint**（不平、苦情）で、**make a complaint**（苦情を言う）という形で使われます。日本語の「クレーム」は英語の **complaint** から来ていますが、英語の **claim** には「苦情」という意味はなく、「主張する」という意味なので注意が必要です。

46.

解答 ③

【解説】

英単語「**overall**」は、「全体的な、総合的な」という意味の形容詞です。個々の部分ではなく、すべてを含めた合計として物事を捉える際に使われます。例えば、「全体的な評価」は **the overall evaluation** と表現します。選択肢①「海外の」は **overseas**、②「過度の」は **excessive** や **overdue**（期限切れの）、④「圧倒的な」は **overwhelming** です。

◆補足：overall は副詞としても使われ、「全体的に見て、概して」という意味になります（例：Overall, it was a good year.）。また、名詞として「つなぎ服（作業着）」という意味もありますが、文脈で判断は容易です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②の now that…です。この接続詞は、「(以前は違ったが) 今はもう～という状況なので」と、変化した状況を理由として述べる際に使われます。Now that you are a high school student, you have more responsibilities. (君はもう高校生なのだから、より多くの責任がある) のように用います。① in case…は「～するといけないので、～の場合に備えて」、③ as long as…は「～しさえすれば」という条件、④ even if…は「たとえ～でも」という譲歩を表します。

◆補足：now that…は、because と意味が似ていますが、特に「状況が新しくなったこと」を強調するニュアンスがあります。文頭にも文中にも置くことができます。主節の動詞の時制は、現在形、未来形、現在完了形などが来ることが多く、過去の状況と対比しながら現在の状況を説明するのに便利な表現です。

48.

解答 ③

【解説】

英単語「symptom」は、名詞として「(病気の) 症状」という意味で最もよく使われます。病気や問題が存在することを示す、体や心に現れる変化や兆候を指します。例えば、「熱は風邪の一般的な症状だ」のように使います。選択肢①「同情」は sympathy、②「交響曲」は symphony、④「象徴」は symbol であり、意味が異なります。

◆補足：symptom は、医学的な文脈以外にも、社会問題などの「兆候」を表すために比喩的に使われることがあります。例えば、"Rising unemployment is a symptom of the economic recession." (失業率の上昇は経済不況の兆候だ) のように使います。語源はギリシャ語の syn- (共に) + piptein (落ちる) で、「共に降りかかるもの」というイメージから現在の意味になっています。

49.

解答 ④

【解説】

「年配の」という意味に最も近い英単語は④の elderly です。old よりも丁寧で、敬意のこもった表現として使われる形容詞です。例えば、「年配の女性」は an elderly woman と表現します。他の選択

肢について、① early は「早い」、② empty は「空の」、③ eager は「熱望して」という意味の形容詞です。

◆補足：elderly は、形容詞としてだけでなく、the elderly の形で「お年寄り（の人々）」という複数扱いの名詞としても使われます。これは、the + 形容詞で「～な人々」を表す用法の一つです（例：the rich, the poor）。

50.

解答 ③

【解説】

「～する能力がある」という意味に最も近い英語表現は③の be capable of doing です。人や物が何かをする潜在的な能力や素質を持っていることを示します。例えば、「彼女は複雑な問題を解決する能力がある」は She is capable of solving complex problems. のように使います。①は「～するのにうんざりしている」、②は「～するのが好きである」、④は「～するのを恐れる」という意味です。

◆補足：be capable of doing と似た表現に be able to do があります。be able to do が一時的・具体的な状況で「～できる」ことを表すのに対し、be capable of doing はその人や物が持つ固有の、あるいは潜在的な「能力・性能がある」ことを強調するニュアンスがあります。
